

# オバマ氏退任へ

退任まで10日を切った米国のオバマ大統領が、2期8年の任期を締めくくると国民向け演説を行った。

地元シカゴを最後の演説の地に選んだのは、政治家の原点に立ち返りたいとの思いがあったのだろう。

「あなたたちが私をより優れた大統領にしてくれた」と国民への謝意を表明し、拍手に包まれた。

ただ、20日に就任する次期大統領トランプ氏はオバマ政権の政策を全面的に覆す姿勢を鮮明にする。米議会は上下両院とも、トランプ氏の与党・共和党が多数を占める。

全国民をカバーする医療保険制度改革（オバマケア）など、8年間で築いた「政治的遺産（レガシー）」は風前のともしびと言っている。

政権が交代すれば主要政策の変更が議論の対象になる。トランプ氏は就任初日に多くの制度や事業を廃止すると明言しており、米国は大きな転換点を迎える。

しかし、国際社会や国民生活に大きな影響が出ないようにするのも新政権の責務である。何を見直し、何を引き継ぐか、トランプ氏は冷静に判断すべきだ。

## もある

オバマ氏は2009年に47歳の若さで大統領に就任した。初の黒人大統領として心を砕いたのは多様な人種、民族、宗教からなる米社会の統合だろう。今回の演説でも「民主主義の維持には相違を超えて結束することが重要だ」と強調した。

移民やイスラム教徒などの排斥をおおるトランプ氏の言動を意識したのは間違いない。「移民の子どもを大切にしなければ、私たちの子どもたちの未来も損なう」という発言には社会の分断を憂う気持ちにがにじむ。

オバマ氏は「核なき世界」を訴えた演説でノーベル平和賞を受け、現職大統領として初めて被爆地・広島を訪れた。敵対してきたキューバとの国交回復に踏み切り、地球温暖化対策では国際的な枠組み「パリ協定」の発効を中国と主導した。

理想の実現を目指す外交で一定の成果を挙げる一方、国内では格差が拡大し、国民の不満が高まった。「米第一主義」を掲げるトランプ氏を押し上げたのは、地域経済の低迷に直面する労働者層とされる。

困難な課題もトランプ政権は引き継ぐ。前政権の「遺産」を頭から否定するのではなく、きちんと評価して未来に生かす対応が、米国や国際社会の発展と安定につながる。

2017.1.12

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

氏名( )

① 見出しの9文字に適した言葉を考えましょう。

|  |  |  |  |  |  |  |   |  |  |   |
|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|---|
|  |  |  |  |  |  |  | 「 |  |  | 」 |
|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|---|

② この社説を150字内で要約しましょう。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |